

ドローンサッカー YouTube動画集(韓国事例は日本語字幕)

区分	タイトル(クリックして視聴)	時間	内容
0	機体紹介動画 DRONE STRIKER Promotion Movie	0分45秒	ドローンサッカーに使用するドローン「STRIKER」のCM動画です。(制作:取手市DecLabo)
1	競技紹介動画 ドローンサッカー紹介	2分31秒	競技の概要を短く紹介しています。(2020/11/17 更新)
	ドローンサッカー紹介動画2	1分49秒	従来の紹介動画をリニューアルしました。
	ドローンサッカー ルール紹介	6分48秒	実際の試合をもとにルールをわかりやすく説明しています。
	ドローンサッカー カテゴリー紹介	2分09秒	一般カテゴリーとジュニア(小学生)の二種類があります。使用するドローンやコート、ルールも異なります。
2	韓国の試合ダイジェスト 2019年7月 大会ダイジェスト動画(全州ワールドカップ競技場)	2分30秒	ジュニア、ルーキーリーグ、アマリーグ合わせて670名もの選手が参加しました。
	2019年9月 大会ダイジェスト動画(金泉市/亀尾市)	2分30秒	初のFAI主催の国際大会および、多彩なメンバーが参加したルーキーリーグ(新人戦)の様態です。
	2020年4月 操縦レベルテスト	1分16秒	コロナの影響で試合が中止となり、その代替として行われたレベル認証テストです。
3	日本の試合/体験会ダイジェスト 名古屋・なごのキャンパス トレーニングマッチ	3分16秒	協会初のトレーニングマッチを行いました。試合を運営して出てきた反省点と改善点を次の公式戦に反映します。
	播磨科学公園都市 体験会	0分34秒	STRIKERによる体験会。コロナ禍で参加人数制限をしましたが、兵庫県企業庁さん、旭テクノロジーさんのご協力を頂きました。
	常設コート完成記念 体験会	4分26秒	茨城県取手市に完成した常設コート。この体験会の機に定期的に組立会、修理会、プログラミング教育などを実施していきます。
4	韓国事例(産業/地方創生) ドローンサッカーを始めたきっかけ 2017年 全州市長インタビュー	2分10秒	初の全国大会を行った際に地元のTV局取材に対して市長がドローンサッカーの効用について語っています。
	2019 春川市ドローンフェスティバル	1分37秒	冬のソナタバブルが去り、地元の活性化に悩む春川市が「スマートイ都市」を目指して動き出しました。
	光州市ドローン公園 開場	1分45秒	ドローンによる町おこしに力を入れようとする光州市。既存のドローン飛行場を多目的にリニューアルしました。
	2019 全州市ドローン産業国際博覧会	2分02秒	ドローンによる町おこしに邁進する全州市。2017年の市長インタビューと合わせてご覧になることを推奨します。
5	韓国事例(教育) 小学校① 光州市	1分48秒	光州市の小学校でドローンサッカーを教えているニュース動画です。
	小学校② 光州市 小学生ドローンサッカー大会	1分39秒	地域の小学生の夏休みの練習の成果を見せる大会です。
	小学校③ 尚州市 青少年リポーターによるレポート	1分45秒	全校生徒にドローン教育を行っている取り組みが各方面から高く評価されています。
	中学校 羅州市 全校生徒11名の中学校の挑戦	1分38秒	地元の支援を受けた中学校がサークルを立ち上げ、地方ならではの創意工夫教育を行っています。
	高校 東豆川市 警察とタイアップした新たな取り組み	3分21秒	認知症老人の失踪や犯罪防止対策を目的に、高校のドローンサークルと警察が協定を締結し活動中です。
	高校 釜山市 新入生がドローンサッカーを教わる	4分02秒	霊山高等学校の1年生が、霊山大学の教授からドローンサッカーを教わっている風景です。
	慶尚南道教育庁でドローンサッカー導入	40秒	教育庁＝教育委員会に似た組織。学校で「スマートスポーツ」授業の導入計画があり、その中でドローンサッカーを推進する計画です。
	大学① 清州市 韓国交通大学のドローンサッカーチーム	1分56秒	2020年暮れに初めての大学生だけのドローンサッカー大会が開催。忠清北道初の大学ドローンサッカーチームの活動です。
	プログラミング教育 「コーディングドローンサッカー」	2分00秒	2019年から小学校でのプログラミング教育が開始した韓国で、ソウルの某業者がドローンサッカー人気に便乗。
	6	韓国事例(軍) 陸軍がドローンサッカーチームを創設	2分05秒
7	韓国事例(少年院) 少年院内のドローンサッカー練習場 ※字幕なし	1分17秒	更生プログラムの一環として実験的に設置。ドローン産業への就職を見越した職業訓練の意味もあります。
8	韓国事例(障害者) 知的障害者のみのドローンサッカーチーム結成	2分00秒	江原道楊口チーム「チャレンジ」は知的障害者のみで結成されています。
9	韓国ニュース 国際化への取り組み フランス模型航空協会が韓国訪問	1分45秒	2025年に世界選手権を開催することを目指して、外国への売り込みも盛んに行っています。
10	試合レポート詳細 ドローンサッカー探訪記	Fishkun23	主に韓国で行われた試合の様態を現地からレポートしているYouTubeチャンネルです。
11	長編レポート 地方大学がドローンサッカーで地域の教育と産業をけん引	19分37秒	韓国では、ドローンとプログラミング教育を結び付けた試みが盛んに行われており、地方大学が中心的な役割を担うところも見られます。
	ドローンサッカーがもたらす教育的効果	21分12秒	ドローンサッカーの競技人口の過半数は学生。なぜ学生の間で広まったのか、その理由を解き明かします。
	消滅寸前の村の高校がドローンサッカーで地域の星となる	18分50秒	村の人口3000人、全校生徒33人の高校が今や地域のコミュニティの場となり、国家代表選手を出すまでに注目されています。
	ドローンとプログラミング教育は連携できるのか?	16分07秒	Tello Eduを用いたプログラミング教育の成功例がない中で、ドローンサッカーは学校教育に上手く落とし込んでいるようです。